

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 7章 14-15節 (新約 1071 頁)

14 それゆえ、わたしの主が御自ら

あなたたちにしるしを与えられる。

見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み

その名をインマヌエルと呼ぶ。

15 災いを退け、幸いを選ぶことを知るようになるまで

彼は凝乳と蜂蜜を食べ物とする。

私たちと共におられる

クリスマスを迎える季節になりました。救い主イエス・キリストの誕生を待つ季節です。今朝は旧約聖書のイザヤ書から救い主誕生を待っていた人々の願い、祈りに耳を傾けたいと思います。

最初にお読みした箇所では、救いのしるしとして「インマヌエル」と呼ばれる幼子が誕生するとありました。インマヌエルとは「神様は私たちと共におられる」という意味です。そしてその幼子は「凝乳（ぎょうにゅう）と蜂蜜を食べ物とする」とありました。「凝乳」とはチーズです。当時は貧しい人々の食べ物でした。この幼子は救いが実現するまで貧しい人々と共にいると約束されています。

戦乱の中にあって、イザヤは次のようにも伝えます。9章1節から（旧約1073頁）拝読します。

闇の中を歩む民は、大いなる光を見

死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

あなたは深い喜びと

大きな楽しみをお与えになり

人々は御前に喜び祝った。刈り入れの時を祝うように

戦利品を分け合って楽しむように。

彼らの負う軛、肩を打つ杖、虐げる者の鞭を

あなたはミディアンの日のように
折ってくださった。
地を踏み鳴らした兵士の靴
血にまみれた軍服はことごとく
火に投げ込まれ、焼き尽くされた。
ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。
ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。
権威が彼の肩にある。
その名は、「驚くべき指導者、力ある神
永遠の父、平和の君」と唱えられる。

また、11章1節から（旧約聖書1078頁）

エッサイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、恐れ敬う霊。
彼は主を恐れ敬う霊に満たされる。
目に見えるところによって裁きを行わず
耳にするとところによって弁護することはない。
弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。
その口の鞭をもって地を打ち
唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。
正義をその腰の帯とし
真実をその身に帯びる。

狼は小羊と共に宿り
豹は子山羊と共に伏す。
子牛は若獅子と共に育ち
小さい子供がそれらを導く。
牛も熊も共に草をはみ
その子らは共に伏し
獅子も牛もひとしく干し草を食らう。
乳飲み子は毒蛇の穴に戯れ

幼子は蝮の巣に手を入れる。
わたしの聖なる山においては
何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。
水が海を覆っているように
大地は主を知る知識で満たされる。
その日が来れば
エッサイの根は
 すべての民の旗印として立てられ
国々はそれを求めて集う。
そのとどまるところは栄光に輝く。

こうして人々は神様の救いを描き、救い主誕生を待ち望んでいたの
でした。今、聞いた聖書の言葉を、しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

私たちが愛し、励まされる主よ。

あなたは戦乱の中で救いを祈る人々に、イザヤを通して救い主誕生を
約束して下さいました。どうか今も貧困、災害、戦乱の中であって救い
を求める人々の願いと祈りに答えて下さい。

また今日から始まる中間テスト、期末テストを覚えて祈ります。どう
かこの試験を通して生徒も教師も共に学びを続け、深めることができま
すようにお導き下さい。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あな
たの祝福のうちに歩ませて下さい。

主イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン